

品名	フルオロカーボン 134a (1. 1. 1. 2-テトラフルオロエタン)	国連番号	3159
----	--	------	------

該当法規・危険有害性

消 防 法						毒物及び劇物取締法			高压ガス保安法		火薬類取締法			道 路 法		
種 別						品名 (法別表)	毒物	劇物	特定毒物	一般高压ガス	液化石油ガス	火薬	爆薬	火工品	施行令第19条の12、13に該当	
第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類											
									●							●

特性	危 険 性			有 害 性				環境汚染性		性 状			
	禁水性	爆発性	可燃性	有害ガス発生			目・皮膚に接触すると危険	河川への流入注意	固体	液体	気体	水溶性	
				常温	加熱時 火災時	水に接触							
													●

事故発生時の応急措置

- ① 車を安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害のないような場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする。)
- ② 事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。
- ③ 容器を覆っているシート等を取り除き、ガスを大気に放出・拡散させる。
- ④ 風上より、漏れ止め、容器冷却、容器移動等の災害拡大防止措置を行う。
- ⑤ 酸素欠乏に注意する。
- ⑥ 下記事項を荷主会社、運送会社、地域防災組織等の関係機関へも連絡する。

緊急通報

119 (消防署) 110 (警察署) 高速道路の非常電話

[緊急通報例]

- ① いつ ○○時 ○○分頃
- ② どこで ○○市○地区(国、県、市)道○○号線○○付近で
- ③ なにが 「フルオロカーボン(フロン)(高压ガス)」が
- ④ どうした 漏れています。
- ⑤ ケガ人は ケガ人がいます(救急車をお願いします)。ケガ人はいません。
- ⑥ 私の名前は 運送会社 です。

緊急連絡

(特に、休日・夜間に確実に連絡がとれる部署の電話番号を記入する)

荷主会社	
住 所	
電 話	平日・昼間 休日・夜間

運送会社	
住 所	
電 話	平日・昼間 休日・夜間

品名	フルオロカーボン 134a (1,1,1,2-テトラフルオロエタン)	国連番号	3159
災害拡大防止措置			
特記事項	処理剤		
<p>① 単純窒息性があります。漏えいしたガスが滞留しそうな場所は、酸素欠乏防止のため立入禁止とする。</p> <p>② ガスを覆っているシート内に滞留しないよう注意する。</p> <p>③ 液体に接触すると凍傷をおこす</p> <p>④ 裸火や高温の物体にふれると熱分解し、有毒ガスを発生することがあるので接触しないようにする。</p> <p>⑤ 容器内圧力 : 20℃で0.47MPa (4.8kg/cm²) [ゲージ圧力] 相対密度 (ガス比重) : 3.5 (空気を1とする。) 色・臭い : 無色・わずかにエーテル臭 沸点 : -26.1℃ 容器の塗色 : ねずみ色</p>			
<p>漏えいしたとき</p> <p>① 通風を良くして、ガスが滞留しないようにする。</p> <p>② 防災工具を用い、風上でかつ漏えいしているガスの吹き出し方向の反対側より、容器バルブ又は漏えいしている部分を静かに増締めし漏れを止める。</p> <p>③ 漏れが止まらないときは、通風の良好な安全な場所で大気に拡散させる。</p>			
<p>周辺火災のとき</p> <p>① 容器を安全な場所へ移動する。</p> <p>② 移動することが不可能な場合は、容器の破損防止のために容器及び周囲に散水する。</p>			
<p>救急措置</p> <p>① 凍傷の場合は、凍傷の部分をこすらず、患部を温湯で徐々に温めて常温に戻し、その後ガーゼなどで保護する。</p> <p>② 多量に吸入した場合は、直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移す。呼吸が停止しているときは人工呼吸を行う。呼吸困難なときは酸素吸入を行う。</p> <p>③ 患者が発生した場合は、できるだけ早く医師の手当を受ける。</p>			